

平成30年度(独)自動車事故対策機構調達等合理化計画の概要

- 公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組む。
- 計画策定、実施、自己評価及び次計画への反映というPDCAサイクルにより推進。
- 計画策定及び自己評価に当たっては、外部有識者からなる契約監視委員会の点検を実施。
- 「調達等合理化検討会」を内部に設置し、調達等合理化計画を着実に実施。

I. NASVAの調達の現状

● 調達の全体像(29年度)

→ **213件、約50.9億円**

◇「競争性のある契約

(一般競争、企画競争、公募)」

119件、15.9億円

◇「競争性のない契約(特命随契)」

94件、35.0億円

※うち60件は事務所賃貸借契約等に係わる契約

● 一者応札・応募状況

◇ 一者応札・応募の件数は増加
23件→30件

H28(一般競争 9件、企画 1件、公募13件)
H29(一般競争 15件、企画 1件、公募14件)

● 企画競争による調達

◇ 件数・金額とも減少傾向
2件→1件、約3千万円→約1.4千万円

● 障害者就労施設等からの調達状況

◇ 調達方針に基づき、障害者就労施設等への発注機会に向け、積極的に推進する取組を実施。

112件→108件

約460万円→約480万円

II. 合理化に向けた取組

(1) 重点的に取り組む分野

① 一者応札の見直し

→ 同一事業者による一者応札が連続し、改善が見込めない事案について、適正契約検証チームの検証を行った上で、適正な契約方式へ移行する。

② 調達グループを超えた一括調達

→ 汎用的な物品・役務等の調達において、支所等の調達案件を取りまとめる等、一括調達を実施する。

また、当機構内においては引き続き日常的な物品については維持していくとともに、当機構以外との共同調達を実施する。

③ 障害者就労施設等への優先調達

→ 調達方針に基づき、障害者就労施設等への発注拡大に向け積極的に推進する。

④ オープンカウンター方式の実施

→ 競争性の向上・透明性の確保を図る観点から、事務負担を考慮しつつ進める。

(2) ガバナンスの徹底

○ 随意契約に関する内部統制の確立を図るため、適正契約検証チームにおいて、新たに随意契約を締結する場合に事前点検を実施する。

○ 不祥事の発生の未然防止・再発防止のため、重点監査項目等による効果的な内部監査等を実施する。

○ 経理事務担当職員を対象とした研修等を実施することにより職員のスキルアップを図る。